

## I 第50週の発生動向 (2009/12/7~2009/12/13)

1. インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**が発令されています。
2. 水痘については、東地方+青森市保健所管内において**注意報**が発令されています
3. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第44週から**警報**が継続しています。

## II 第50週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数		東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
小児科 内科 (85) インフルエンザ	523	37.4	466	31.1	317	22.6	222	31.7	571	63.4	399	66.5	2,498	38.4	-533		28	14.0	495	41.3	
小児科	(74) RSウイルス感染症	40	4.4	37	4.1			12	2.4	2	0.3			91	2.2	31			40	5.0	
	(75) 咽頭結膜熱	3	0.3	2	0.2							9	2.3	14	0.3	9			3	0.4	
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.0	6	0.7	1	0.1	1	0.2	4	0.7	11	2.8	32	0.8	-6	1	1.0	8	1.0	
	(77) 感染性胃腸炎	24	2.7	2	0.2	3	0.3	7	1.4	9	1.5	10	2.5	55	1.3	-3	3	3.0	21	2.6	
	(78) 水痘	36	4.0	4	0.4	4	0.4	5	1.0	3	0.5	11	2.8	63	1.5	2			36	4.5	
	(79) 手足口病					2	0.2			2	0.3			4	0.1	-9					
	(80) 伝染性紅斑	7	0.8							10	1.7			17	0.4	-1			7	0.9	
	(81) 突発性発しん	3	0.3	5	0.6	4	0.4	3	0.6	1	0.2	1	0.3	17	0.4	-1	1	1.0	2	0.3	
	(82) 百日咳			1	0.1									1	0.0	1					
	(83) ヘルパンギーナ															0					
(84) 流行性耳下腺炎	6	0.7	1	0.1			1	0.2					8	0.2	-7			6	0.8		
眼科	(86) 急性出血性結膜炎														0						
	(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			1	0.5						2	0.2	2				1	0.5	
基幹	(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	7	7.0					3	3.0	11	1.8	4					

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者発生無し。

### III 表II以外の感染症法対象疾患

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市2人
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：五所川原1人

(21年計：315人)  
 (21年計：15人)

### IV 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

## 感染症の窓

## RSウイルス感染症

(respiratory syncytial virus: RSV)



図1 全国および青森県における届出数年次推移

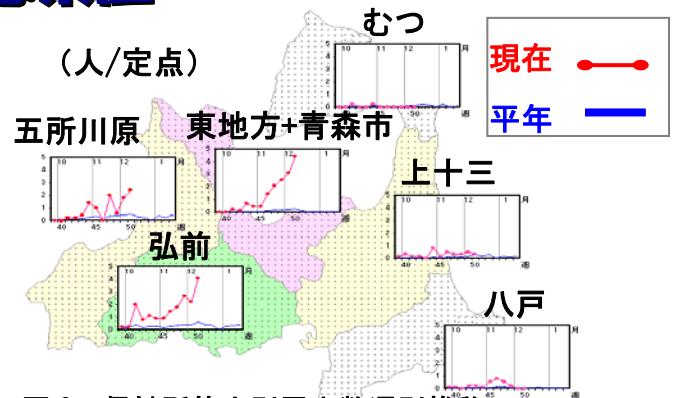


図2 保健所管内別届出数週別推移

本疾患は、乳幼児に多く見られる急性気道感染症(肺炎、細気管支炎など)で、2歳頃までに、ほぼ100%の子どもがかかかりますが、6ヶ月未満の乳幼児では重症化しやすく、早産で出生した児や心臓に病気のある乳児では予防等について主治医と相談しておく必要があります。

現在、本県のRSウイルス感染症の定点あたり届出数は、全国平均の2倍以上で推移しています(図1)。地域別では、青森(東地方+青森市)および弘前保健所管内が11月上旬(第45週)から急増し五所川原保健所管内においても11月下旬(48週)から増加傾向にあることから他の地域においても注意が必要です。RSウイルスは、飛沫と接触によって感染するため、乳幼児の多い保育園、幼稚園などでは手洗いの励行が重要です。

V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

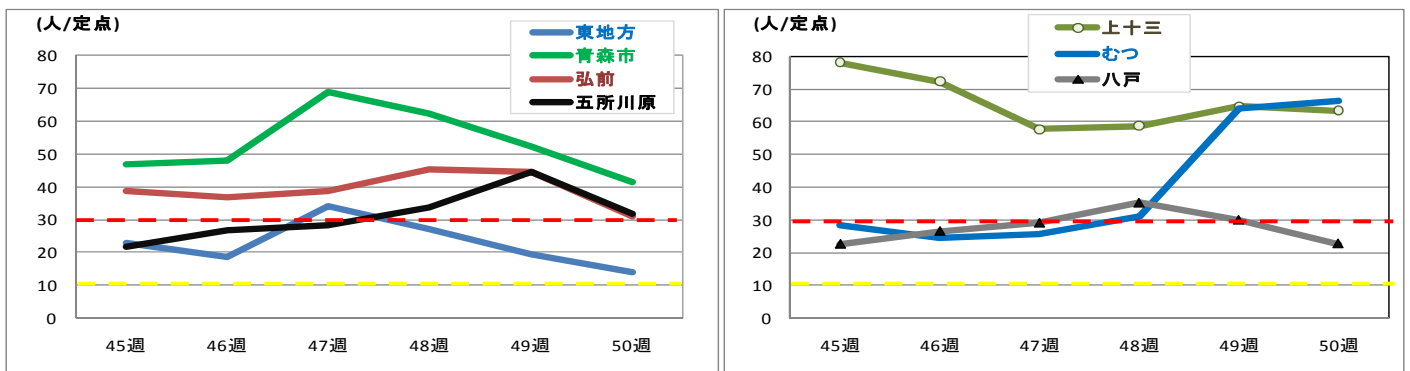
・青森県全体の届出数は2,498人(533人減少)です。

	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週
東地方+青森市	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
弘前	—	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
八戸	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	警報	警報	警報
五所川原	—	—	注意報	注意報	注意報	注意報	警報	警報	警報
上十三	注意報	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報
むつ	—	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	28	466	317	222	571	399	495
A型	28	466	250	222	527	398	466
B型	0	0	0	0	3	1	1
不明	0	0	67	0	41	0	28

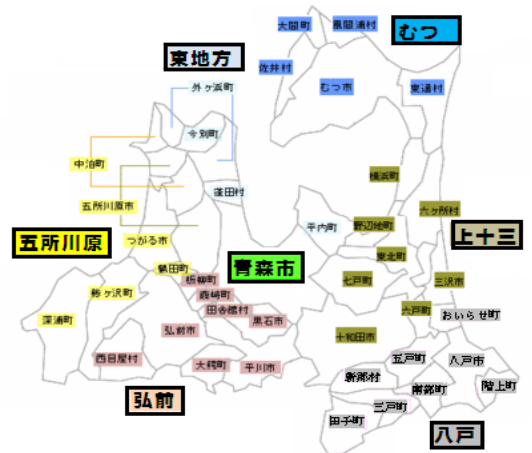
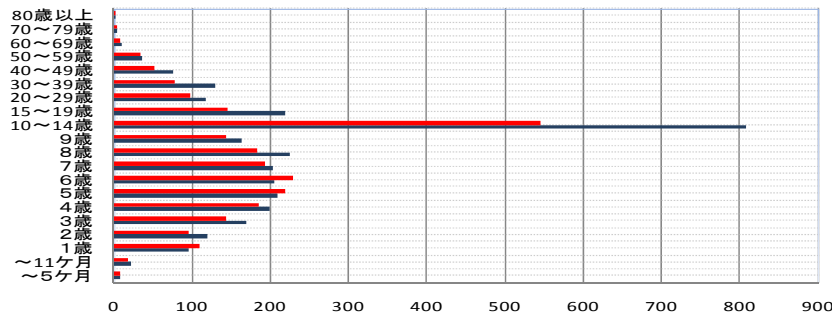
V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



・警報開始基準値は30人/定点(図赤破線)、終息基準値は10人/定点、注意報開始レベルは10人/定点(図黄色破線)です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)

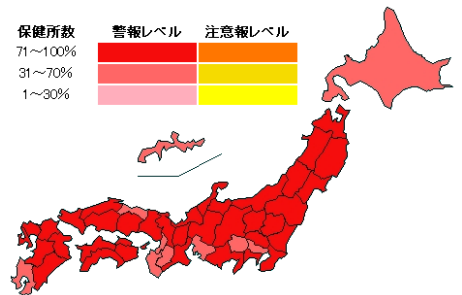
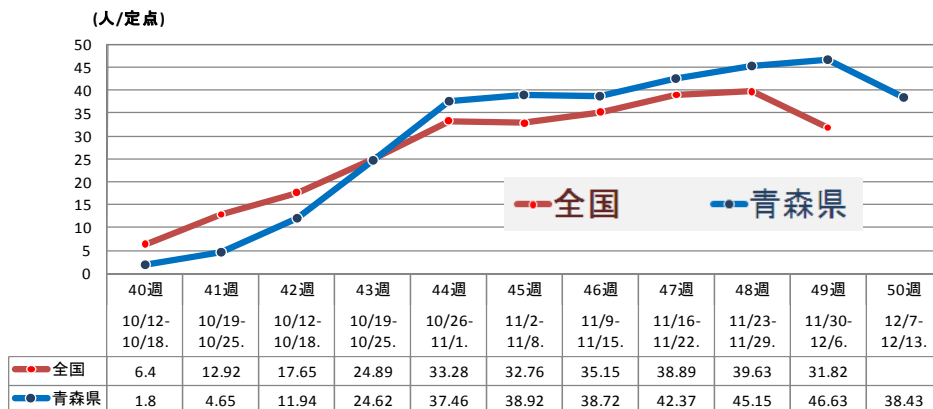
( 青森県保健所管内マップ )



	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
■ 50週	9	18	109	95	144	185	220	230	193	183	144	546	145	98	78	53	35	8	4	1
■ 49週	9	23	96	120	170	200	210	206	203	226	164	809	219	118	130	76	36	11	4	1

V-4 全国比較 (2009年40週~50週)

※全国値は49週までです。



第50週感染症発生動向調査において、全国都道府県すべてにおいて、警報発令保健所が存在しています。